

ねんご じぶん か 10年後の自分に手紙を書こう

プロジェクト！について

赤江小学校開校150周年を記念して、「10年後の自分に手紙を書こうプロジェクト」を行います。これは、10年後の自分へあてた手紙を書いて保存し、10年後に開封するという実行委員会の中から出た企画です。

10年後に自分に向けて、「いまの自分が感じている気持ちや考えていること」「達成したい目標」「かなえない夢」など、未来の自分にむけて手紙を書き、タイムカプセルに入れます。（冬休み中に各家庭で取り組んでいた
だき、1月9日に担任の先生へ出すことになっています）

10年後に開封し、みんなで当時（今年度のことですが・・・）の赤江小学校や自分の姿をふりかえることができればよいなと思っています。

10年後の自分に手紙を書こうプロジェクトの内容

1. プロジェクトの内容

- ・「10年後の自分へあてた手紙」を書いて、コンテナ（鍵付き）に保管します。
- ・10年後に開封し、手紙に切手を貼って郵便ポストに投函します。
- ・手紙の宛先（自分の住所）に手紙が届きます。
- ・保護者の方も手紙を書いて同封されてもよいとしています。

2. 開封予定日・・・10年後の夏休み（令和15年8月）に開封します。

- ・開封後、切手を貼って投函します。切手代は、記念事業費から4万円支出してPTA会計に入れ、PTA特別会計内で10年間繰り越して保管します。

3. 10年後にお世話する人（PTAより）・・・加藤聡士さん、日野祐也さん

4. 書き方

- ・好きな便せんに書いて、好きな封筒に入れて、のりなどで封をして出します。封筒の表に、「郵便番号、住所、自分の名前」を書いておきます。
- ・封筒の中に、壊れるものや液が漏れるものは入れません。

5. 回収にあたって

- ・全員が提出したら、学級ごとにまとめて封をし、コンテナに入れます。

6. 保管方法

- ・放送室奥の部屋（スタジオ）で保管します。コンテナの鍵は缶に入れて校長室の金庫で保管します。

7. 宛先不明の場合

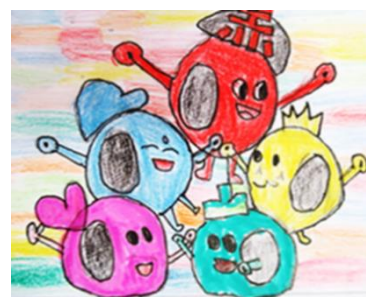
- ・「10年後に、宛先の住所にいない場合は・・・」といった問い合わせがあろうかと思います。投函者は、赤江小学校となるので「宛先不明」で赤江小学校に戻ってきますので、赤江小学校に取りに来ていただくよう伝えてください。1年間引き取りがない場合は破棄（シュレッダー）します。

8. PTAへの周知と引継ぎ（1月の運営委員会で提案、その後保護者文書でお知らせ）

- ・3学期の参観日に合わせて再度文書を出します。
- ・4月の引継ぎ会、PTA総会で説明します。以降、PTAの引継ぎ事項で伝えていってまいります。

9. 学校側の引継ぎ

- ・校長、教頭、事務もそれぞれ引き継ぐようにします。



150周年記念キャラクター
「タイヤ山レンジャー」